

空き家の活用を促進 茅ヶ崎市空き家バンクを開始

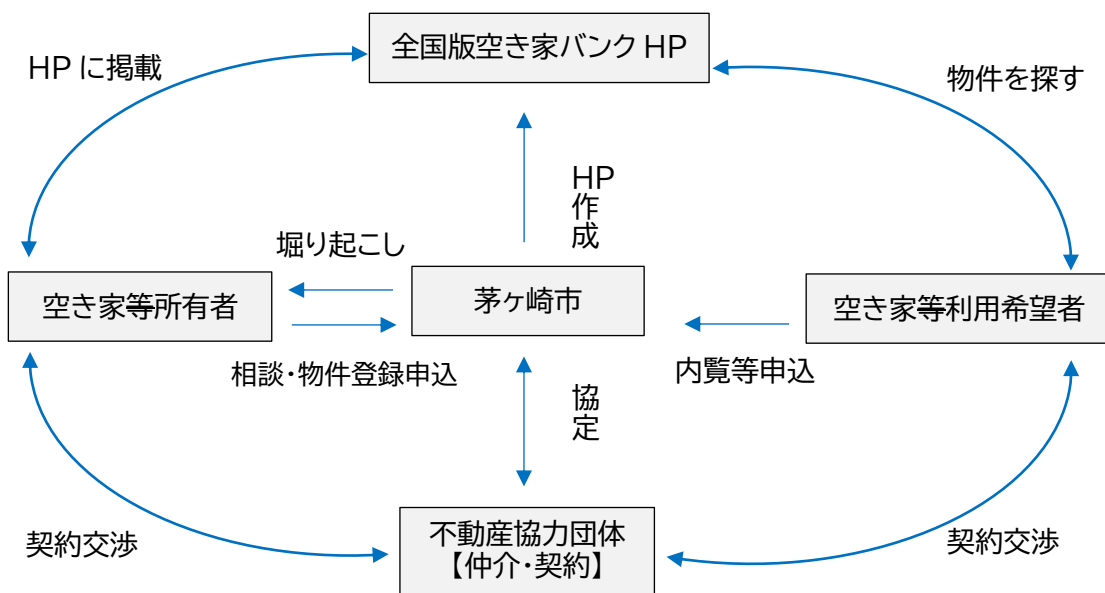
市は、空き家所有者から空き家の登録を募り、空き家の利用を希望する人に物件情報を提供する「茅ヶ崎市空き家バンク」を4月1日から設置いたしました。

空き家バンクを通じ、空き家の活用を促進するとともに、良好な住環境の確保と、地域の活性化に向けた後押しを行います。

1 空き家バンクの概要

空き家バンクでは、一般的な不動産流通サイトでは買い手が見つからない空き家でも、不動産流通サイトとは異なる需要層にアプローチが可能です。空き家バンクを設置することで、空き家の流通が促進し、地域の空き家問題の解決が期待されます。移住の促進だけでなく、空き店舗としての活用を想定した空き家の有効活用も考えられます。

空き家バンクは、不動産取引を介する制度になりますので、公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会湘南支部、公益社団法人全日本不動産協会神奈川県本部湘南支部と「茅ヶ崎市空き家バンクに関する協定」を締結し、連携しながら実施いたします。



《市内の空き家状況》

市が実施した「令和元年度茅ヶ崎市空き家実態調査」では、市内に1,575件の空き家があることがわかっています。県内では比較的少ないものの、令和5年度2月末現在の市役所に寄せられた空き家の相談、情報提供数は前年度の数を超え、人口減少に伴う住宅の余剰、高齢化の進展による相続の発生や施設入所者の増加から、今後、空き家の更なる増加が予測されるため、空き家の利活用の促進が求められています。

市の窓口には空き家に住みたい等の相談が多く寄せられていることから「茅ヶ崎市空き家バンク」を設置することといたしました。